

今後の教員養成部会の進め方イメージ(案)

資料2

令和7年

令和8年

夏～秋頃

2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

(注)スケジュールは令和6年12月時点のもの。

○社会の変化や学習指導要領の改訂等も見据えた教職課程の在り方

・委員からの意見発表

・外部有識者、教職課程を履修する学生からのヒアリング

・論点メモ(案)に基づき議論

など

○教師の質を維持・向上させるための採用・研修の在り方

・委員からの意見発表

・外部有識者からのヒアリング

・論点メモ(案)に基づき議論

など

○多様な専門性や背景を有する社会人等が教職に参入しやすくなるような制度の在り方

・委員からの意見発表

・外部有識者からのヒアリング

・論点メモ(案)に基づき議論

など

主な論点と方向性を整理

テーマごとにWGを設置

WG

WG

WG

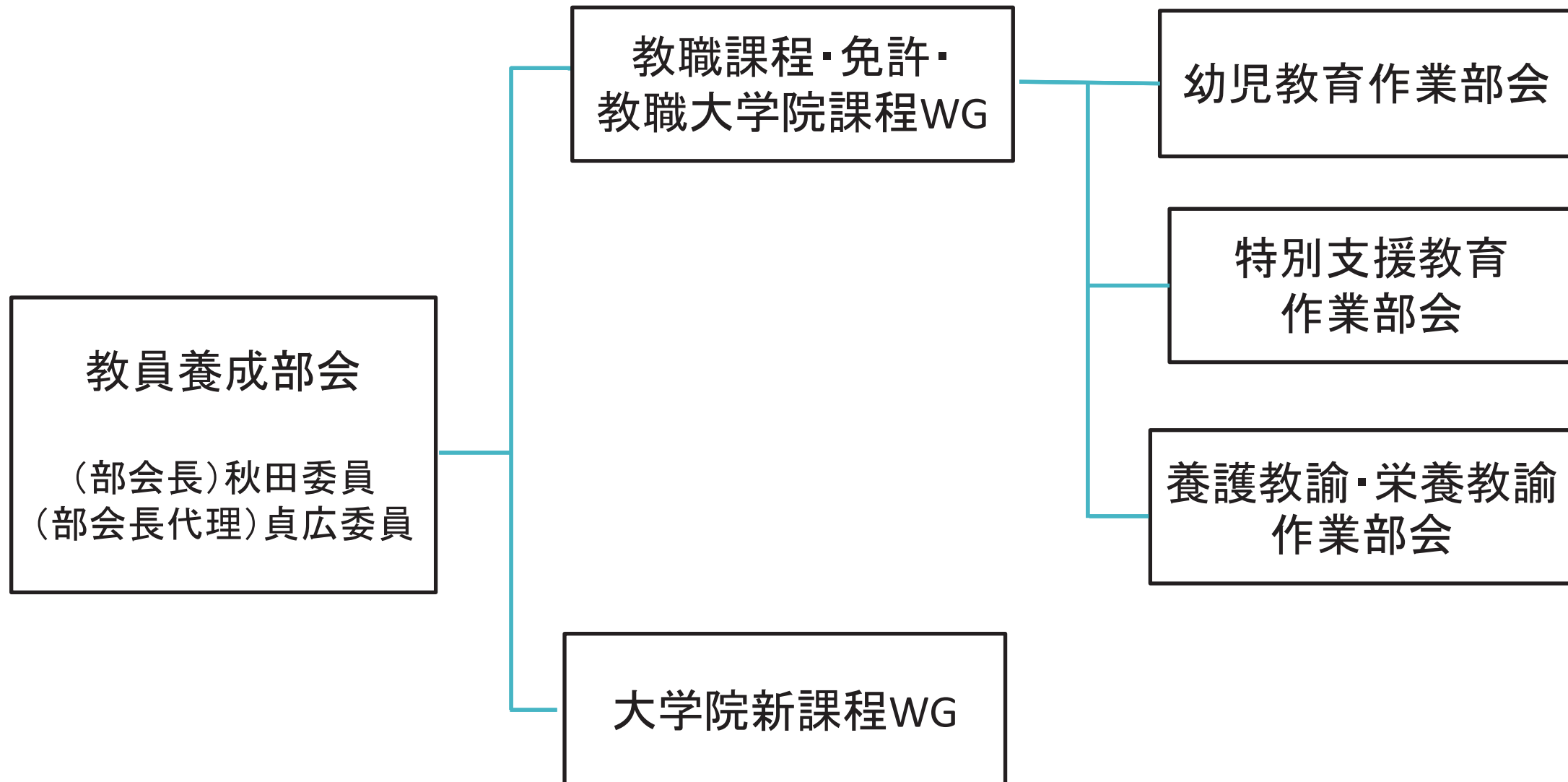
制度設計を具体的に検討

教員養成部会への報告

引き続き議論

答申

教員養成部会の体制について



中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
教職課程・免許・大学院課程ワーキンググループ等の設置について

令和7年9月19日
教員養成部会決定

1. 設置の目的

社会の変化や学習指導要領の改訂等も見据えた教職課程の在り方について、より具体的かつ専門的見地から審議を行うため、本部会のもとに、教職課程・免許・大学院課程ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を設置する。また、ワーキンググループのもとに、幼児教育作業部会、特別支援教育作業部会、養護教諭・栄養教諭作業部会を設置する。

2. 検討事項

今後の教職課程や教員免許制度の在り方について、特に次の点を中心に検討を行う。

①教職課程・免許・大学院課程ワーキンググループ

- (1) 専修・一種・二種免許状の在り方と必要単位数
- (2) 養成段階で身に付けるべき資質能力と資質能力の身に付け方
- (3) 大学院の教職課程の在り方
- (4) 教職課程の質保証の在り方
- (5) 教員養成における大学間連携
- (6) その他これらに関連する事項

②幼児教育作業部会

- (1) 幼稚園教諭に係る教員免許状の在り方について
- (2) 保育士資格との連携を踏まえた幼稚園教諭に係る養成・採用・研修の在り方
- (3) その他これらに関連する事項

③特別支援教育作業部会

- (1) 特別支援学校教諭に係る教員免許状の在り方
- (2) 特別支援学校教諭に係る養成・採用・研修の在り方
- (3) 小・中・高等学校等において特別支援教育を担う教師の専門性向上に向けた方策
- (4) その他これらに関連する事項

④養護教諭・栄養教諭作業部会

- (1) 養護教諭及び栄養教諭に係る教員免許状の在り方について

- (2) 養護教諭及び栄養教諭に係る養成・採用・研修の在り方
- (3) その他これらに関連する事項

3. 設置期間

ワーキンググループ及び作業部会は、2. の検討事項に関する審議が終了したときに廃止する。

4. その他

- (1) 作業部会において検討結果をとりまとめた時は、ワーキンググループに報告する。
- (2) ワーキンググループにおいて検討結果をとりまとめた時は、教員養成部会に報告する。
- (3) 教員養成部会からの求めがあった時は、ワーキンググループの検討の経過を教員養成部会に報告する。

また、ワーキンググループは必要に応じ、その検討の経過を教員養成部会に報告することができる。

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
教職課程・免許・大学院課程ワーキンググループ委員名簿

五十音順・敬称略

| | |
|---------|--------------------------|
| 秋 田 喜代美 | 学習院大学文学部教授・東京大学名誉教授 |
| 勝 野 正 章 | 東京大学大学院教育学研究科学校開発政策コース教授 |
| 白 水 始 | 国立教育政策研究所初等中等教育研究部長 |
| 杉 谷 祐美子 | 青山学院大学教育人間科学部教授 |
| 高 橋 純 | 東京学芸大学教育学部教授 |
| 田 中 マキ子 | 山口県立大学長 |
| 真 島 聖 子 | 愛知教育大学学長補佐・准教授 |
| 森 田 真 樹 | 立命館大学大学院教職研究科教授 |
| 森 山 賢 一 | 玉川大学大学院教育学研究科教授 |

役職は令和7年9月1日現在

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
幼児教育作業部会委員名簿

五十音順・敬称略

| | |
|---------|---|
| 秋 田 喜代美 | 学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授 |
| 浅 井 幸 子 | 東京大学大学院教育学研究科所属 発達保育実践政策学センター長 |
| 石 川 悦 子 | こども教育宝仙大学こども教育学部教授 |
| 岡 本 潤 子 | 学校法人千葉学園千葉幼稚園園長、 一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構教育研究委員長 |
| 佐 々 木 晃 | 国立大学法人鳴門教育大学学校教育学部教授、 前鳴門教育大学附属幼稚園園長 |
| ト 田 真一郎 | 大阪常磐会大学短期大学部 |
| 高 橋 慶 子 | 目黒区立みどりがおかこども園園長、 全国国公立幼稚園・こども園長会会長 |
| 藤 原 美由紀 | 福井県健康福祉部児童家庭課長 |
| 水 川 和 彦 | 岐阜市教育委員会教育長 |
| 村 崎 文 彦 | 徳島文理大学徳島文理大学短期大学部 理事長 |
| 矢 萩 恭 子 | 和洋女子大学教授 |

役職は令和7年9月1日現在

※オブザーバーとして、こども家庭庁成育局成育基盤企画課も参加する。